

希学園 第404回 小4公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第404回公開テスト 小4算数 解説動画(2026年1月11日実施)	https://vimeo.com/1153112590/ac380133e7

希学園 第404回 公開テスト 小4 算数 2026年1月11日実施 (模範解答) 制限時間40分

1	(1) 8 4 8	(2) 1 8 1 6	(3) 1 0 1 5 2	(4) 3 0 0 3 0
---	-----------	-------------	---------------	---------------

(5) 2 0 6 3	(6) 4 . 7	(7) 9 . 9	(8) $\frac{7 \ 3}{1 \ 0 \ 1}$
-------------	-----------	-----------	-------------------------------

(9) 2 4 0 1 (kg)	(10) 9 3 4 0 (mm)	(11) ⑦ 8 (時)	⑧ 3 8 (分)
------------------	-------------------	--------------	-----------

(12) 7 0 0 (mL)	(13) 1 3 5	((11)完答)
-----------------	------------	----------

2	(1) 6 0 0 円	(2) 1 6 0 0 円	(3) 1 3 0 円
---	-------------	---------------	-------------

3	(1) 1 3 番目	(2) 2 7 個	(3) 5 5 番目
---	------------	-----------	------------

4	(1) 8 0 0 円	(2) 2 6 0 0 円	(3) 2 月 1 2 日
---	-------------	---------------	---------------

5	(1) 4 3 mL	(2) 4 7 1 mL	(3) 1 5 1 4 mL
---	------------	--------------	----------------

(配点) 各 4 点 × 2 5

希学園 第404回 公開テスト 小4 算数 2026年1月11日実施 (解説)

1

$$(9) 3\text{ t} - 44\text{kg} - 555000\text{ g} = 3000\text{kg} - 44\text{kg} - 555\text{kg} = \underline{\underline{2401\text{kg}}}$$

$$(10) 6\text{ m} + 728\text{cm} - \boxed{\quad}\text{ mm} = 3\text{ m} 94\text{cm}$$

$$\boxed{\quad}\text{ mm} = 6000\text{mm} + 7280\text{mm} - 3940\text{mm} = \underline{\underline{9340\text{mm}}}$$

$$(11) 50発目を打ち上げるまでにかかる時間は,
2 \times (50 - 1) = 98(\text{分})$$

午後7時 + 98分 = 午後 $\underline{\underline{8\text{時}38\text{分}}}$

② ①

$$(12) 120 - 2 \times 25 = 70(\text{L}) \rightarrow 700\text{dL}$$

$$700 - 3 \times 231 = 7(\text{dL}) \rightarrow \underline{\underline{700\text{mL}}}$$

(13) 0と9のカードは必ず一の位に使うので、
□0, □9, □□と分かる。
残りのカードは3, 4, 5, 6で、□9にあてはまるものは49のみ。
よって、□0にあてはまるものは30と分かる。
残りのカードは5, 6で、作ることができるのは56。
よって、 $49 + 30 + 56 = \underline{\underline{135}}$

4

(1) 曜日ごとの貯金のようすをまとめると下のようになる。

月	火	水	木	金	土	日
+200	+300	0	+300	+200	-100	-100

1週間でたまる金がくは、
 $200 \times 2 + 300 \times 2 - 100 \times 2 = 800(\text{円})$
1月19日の午前10時には、その日の貯金はまだなので、貯金箱の中身は800円。

(2) 3週目の金曜日の正午までなので、2週間分と月曜から金曜までの分を貯金する。

$$800 \times 2 + 200 + 300 + 300 + 200 = \underline{\underline{2600(\text{円})}}$$

(3) $4000 \div 800 = 5$ (週間) 後には4000円になっているが、土日はお金を使っているので、それよりも前に4000円になるときがある。

4週間で、 $800 \times 4 = 3200(\text{円})$
月曜、火曜、木曜で、 $200 + 300 + 300 = 800(\text{円})$
よってはじめて4000円になるのは、5週目の木曜。
 $7 \times 4 + 3 = 31$ (日後)
1月12日 + 31日 = 2月12日

5

(1) 1辺が1mの正方形をぬるのに必要なペンキの量から、直径が1mの円をぬるのに必要なペンキの量を引けばよい。

$$200 - 157 = \underline{\underline{43(\text{mL})}}$$

(2) ぬる面は、直径が1mの球の表面の半分と、切り口である直径が1mの円。

球の表面の半分をぬるのに必要なペンキの量は、
 $628 \div 2 = 314(\text{mL})$
よって、 $314 + 157 = \underline{\underline{471(\text{mL})}}$

(3) 1辺が1mの正方形6枚からなる立体の表面すべてをぬるのに必要なペンキの量は、 $200 \times 6 = 1200(\text{mL})$
この立体と、球の半分がくっついている面は、直径が1mの円の半分。

くっつけた面とくっつけられた面で、円の半分の2倍分はペンキをぬらなくてよいので、
 $1200 + 471 - 157 \div 2 \times 2 = \underline{\underline{1514(\text{mL})}}$

配点：各4点 × 25

①(11) ; 完答

2

$$(1) 1000 - 400 = \underline{\underline{600(\text{円})}}$$

$$(2) \text{アメ} \times 3 + \text{チョコ} \times 7 = 1000(\text{円})$$

$$\underline{\underline{+\text{アメ} \times 7 + \text{チョコ} \times 3 = 600(\text{円})}}$$

$$\text{アメ} \times 10 + \text{チョコ} \times 10 = 1000 + 600 = \underline{\underline{1600(\text{円})}}$$

$$(3) (2)より、アメ1個とチョコ1個を買うと、
1600 \div 10 = 160(\text{円})$$

アメ3個とチョコ3個を買うと、
 $160 \times 3 = 480(\text{円})$

$$1000 - 480 = 520(\text{円}) \cdots \text{チョコ4個の値段}$$

$$520 \div 4 = \underline{\underline{130(\text{円})}} \cdots \text{チョコ1個の値段}$$

3

- (1) 書き出して調べていく。
1, 2, 3, 11, 12, 13, 21, 22, 23, 31, 32, 33, 111
より、13番目。
- (2) 1□□の□□にあてはまるのは、(1)で書き出した11から33までの9個。
2□□も3□□も1□□と同様に9個ずつあるので、3けたの数は、 $9 \times 3 = \underline{\underline{27(\text{個})}}$
- (3) 1けたの数が3個、2けたの数が9個、3けたの数が27個があるので、ここまでで、 $3 + 9 + 27 = 39(\text{個})$
11□□の□□にあてはまるのは11から33までの9個。
121□が3個、122□も3個、その次が1231。
よって、 $39 + 9 + 3 + 3 + 1 = \underline{\underline{55(\text{番目})}}$